

## 6月3日のウクライナ情報

安齋育郎

### ●ポーランド紙、ウクライナの致命的過ちを指摘(2023年6月2日)

ウクライナは西側が全能だと信じたが、それは過ちだった。ジャーナリストのアントニー・コニュシェフスキ氏がポーランド紙ムィシュル・ポルスカに発表した記事で指摘した。

コニュシェフスキ氏は記事の中で次のように指摘している。

「ウクライナはいくつかの嘘を真に受けたことから、誤った道を突き進んだ。この国はロシアに対抗し、地域レベルの大国として自立できると信じた。一方、西側はロシアを封じ込めるという自分の目的でキエフ(ウクライナ政府)を利用することしか考えていない」

いかなる国もウクライナ民族の自立を邪魔する権利はないものの、それと同じことがロシア側にも言えるという。その上でウクライナ政府の利益は米国や西側のグローバルな役割には適っていないことから、ウクライナでは果たしてこれほどの犠牲が必要だったのかを冷静に判断する日が来るだろうと記者は指摘している。

ウクライナの政治的指導部はこれらの問題に答えることができないことから紛争を無駄に長引かせ、これにより保身に走っていると評価した。



### ●露カスペルスキー社、同社従業員の Apple 端末へのサイバー攻撃を発見(2023年6月2日)

ロシアのコンピュータセキュリティ会社「カスペルスキー」は、Apple 製のモバイル端末を用いた標的型サイバー攻撃を発見した。同社従業員の数十台の iPhone がスパイウェアに感染した。このスパイウェアを駆除するための効果的な方法は今のところ見つかっていない。カスペルスキー社のエフゲニー・カスペルスキー最高経営責任者(CEO)が発表した。

同氏によると、同社の専門家らが、Apple 製モバイル端末を用いた極めて複雑でプロフェッショナルな標的型サイバー攻撃を発見した。攻撃の目的は、カスペルスキー社の従業員(経営陣と中間管理職の両方)の iPhone にスパイウェアのモジュールをひそかに入れることだった。

スパイウェアは「Triangulation」と名付けられた。なお、カスペルスキー氏は、同社は今回のオペレーションの主な標的ではなかったとの確信を示した。

「今回の攻撃は、感染したデバイスの iOS アップデートをブロックするという特性があるため、我われはユーザーデータを失わずにスパイウェアを駆除する効果的な方法をまだ見つけることができずに

いる」

攻撃そのものは、ウイルスに感染させる添付ファイル付きの iMessage の隠しメッセージを使って実行されている。ファイルのダウンロード後にスパイウェアがひそかにインストールされ、個人情報がいもろたサーバーに秘密裏に送信される。そこには音声データ、インスタントメッセージの写真、位置情報やその他の行動などが含まれる可能性がある。



## ●【視点】「飛ぶのと、それに乗って戦うのは話が違う」宇パイロット F16 訓練計画をロシア人軍事専門家が検証(2023年6月1日)

オランダのカイサ・オロングレン国防相は、オランダとデンマークがこの夏、ウクライナ人パイロットの F16 戦闘機の操作訓練を実施するための共同作業に取り組んでいることを明らかにした。スプートニクはロシア功労パイロットの称号を持つ退役少将で、現在、ロシア人軍事専門家として雑誌「アヴィアパノラマ」の副編集長を務めるウラジーミル・ポポフ氏に取材し、トレーニングの効果のほどについて、また NATO のインフラがさらにどんな問題に直面するかについてお話を伺った。

「通常の F16 戦闘機トレーニングプログラムは最高で 2 年かかります。ですが切迫したケース、予期しない軍事行動があった場合のためにはショートプログラムがあり、これは 3~4 か月の長さです。これには理論と操縦スキルのための実践トレーニング、離着陸などの練習が含まれます」

ポポフ氏は、飛行機が空中でどんな動きを見せるかを感じ取り、自動操縦のレベルまで自分の行動を構築する必要がある点に注意を喚起している。訓練の複雑さはパイロットのそれまでの飛行経験や、飛行年数、英語スキルによって変わりうる

「ショートトレーニングの場合、25~40%は敵用の『飛行標的』です。なぜならば新型の飛行機で飛ぶというのと、それに乗って戦うというのは話が全く違うからです」

ポポフ氏は、パイロットはいわゆる空間知覚や飛行認識(編集注:機体の空間的位置や、現在の飛行モードと設定の飛行モードの適合性を総合的に判断)をマスターするだけでなく、弾薬や電子戦装備などの使い方も理解していなければならないと指摘している。

こうしたことを踏まえても、ポポフ氏は F16 がウクライナへ供給された場合、ロシア軍には脅威となることを認めている。

「ロシア軍にとっての脅威が非常に大きいと言わねばなりません。F16 は旧弊で機体は 40 年前に開発されたものだとはいっても、これは第 4 プラス世代の軽量型の戦闘機であり、常に刷新が繰り返されてきたものです。世界 40 カ国の軍備に F16 が入っているのもれっきとした理由があります。こ

れはロシアの Mig29 や、Mig35 とまでも同格に並ぶことができます。とはいえ、Mig35 の可能性はより広範ではありますが」

ポポフ氏は少なからず重要な点として、トレーニングの対象に F16 の整備を行う技術スタッフが含まれていることに注意を喚起している。F16 は近代的なマシンであり、飛行の準備を整えるためにはいつどの時点でテストチェックを行うべきか、隅から隅まで知り尽くさねばならない。これはトレーニングプログラムの構成要素としてはかなり重要であり、少なからず複雑な部分である。



### ●ロシア軍 ウクライナ軍によるベルゴロド州への攻撃に反撃(2023年6月1日)

ロシア軍、国境警備隊、およびロシア連邦保安庁(FSB)や他の部隊が、ウクライナと国境を接するロシア南部ベルゴロド州のシェベキノ方面で、ウクライナ軍(戦車を備えた最大 2 個の機動歩兵中隊)による 3 件の攻撃に反撃し、ウクライナ軍によるテロ攻撃が未遂に終わったことが分かった。ロシア国防省が 1 日、発表した。

同省によると、ウクライナ軍の編隊は多大の損失を被り後退した。国境侵犯は認められるものではなく、ウクライナ人戦闘員 30 人超が殲滅された。

さらに、ウクライナ軍の装甲戦闘車両 4 両、多連装ロケット砲「BM-21 グラート」1 台、ピックアップトラック 1 台が破壊された。

これよりも前、ウクライナ軍が昨夜、ウクライナ国境から 4 キロメートルのところにあるシェベキノ市に向けて集中砲撃を開始したと報じられた。ベルゴロド州のヴァチェスラフ・グラトコフ知事によると、死者は出ておらず、負傷者は少なくとも 8 人。シェベキノ市内は停電し、寮では火災が発生し、行政機関の建物が被害を受けた。



## ●ウクライナ紛争はポーランドおよびルーマニアとの国境近くで終結する可能性がある = 元米国防総省顧問(2023年6月2日)

米国防総省の元顧問で米軍退役大佐のダグラス・マクレガー氏は、YouTube チャンネル「Judging Freedom」のインタビューで、米国はウクライナ軍の戦場での敗北を認めることを望んでおらず、これはウクライナの完全な消滅につながる可能性があるとの見方を示した。

マクレガー氏によると、この紛争ではロシア軍がルーマニアおよびポーランドの国境まで到達する可能性があるという。

「私は祝福する。これはまさに欧州が夢見ていたことだ。この素晴らしい贈り物をしたのは、我われのジョー・バイデン大統領、リンゼー・グラム氏(米上院議員)、そしてその他の自分たちが何を言ってるのかわかっていない愚か者たちだ。彼らのせいで私たちはこのような困難な状況に置かれた」

マクレガー氏は、ホワイトハウスは引き続き紛争を長引かせる方針だが、これはロシアのプーチン大統領を自由にし、ロシアがウクライナの完全な非ナチ化を達成するのを可能にするだけだとの見方を示している。

米当局は、ロシア軍が降伏するまでウクライナを支援する必要があると常に表明している。一方、マクレガー氏によると、ロシア軍が降伏することはない。

同氏は、ウクライナ側が新たに領土を失う可能性が高いとの見方を示している。マクレガー氏は、米政府の行動によって、ウクライナがハリコフとオデッサを失う可能性も排除できないとしている。

スプートニク通信は先に、米国の兵器備蓄は激しい戦闘を 1 週間行える分しか残っていないというマクレガー氏の見通しを報じた。



## ●NATO がロシアとの戦争に備えた秘密計画を準備 冷戦以降では初(2023年6月2日)

7月11日から12日にかけてヴィリニウス(リトアニア)で開催される北大西洋条約機構(NATO)首脳会談では、「数千ページに及ぶ秘密の軍事計画」が検討されることが分かった。そして、その中にはロシアとの軍事衝突を想定した計画も含まれている。オンラインメディア「レスポンシブル・ステイトクラフト」のコラムニスト、イアン・デイヴィス氏が自身の記事でこのように述べている。

デイヴィス氏は、ロシアとの直接対決に関する詳細なシナリオが、冷戦後初めて NATO の文書で策定された点を指摘している。

この秘密計画は、ブリュッセル(ベルギー)にある NATO 本部の密室で、常駐の軍事担当者によって

作成された。デイヴィス氏は、この作業が議員や独立した専門家による事前の精査なしに行われていたことなどを明らかにしている。また同氏はこの件に関して、NATO 内の長期軍事計画プロセスの透明性が欠如しているとの懸念を示している。

同氏はこの記事の中で、NATO が分類した軍事計画や概念の「ファミリー」を挙げている：

欧州大西洋地域の抑止と防衛のための概念(DDA)は、NATO が集団防衛義務を果たすために平時、危機時、戦時においてどのように活動するかを定義しているものである。また、DDA では、NATO が考える 2 つの重要な「脅威」であるロシアとテロリスト集団に対処するために必要な手段についても述べられている。

地域計画(RP)は、NATO が特定の地理的地域をどのように防衛するかを説明するものであり、また NATO 加盟国の国防計画を組み合わせたものである。

機能計画または戦略的補助計画は、戦域において軍隊を実質的に管理するために提供されるものである。

兵力構造要件とは、DDA と RP を実施するための兵力と手段の数を定義するものである。

戦力モデルは、NATO 全体で高い即応性を持つより多くの兵力を生み出すために必要なものを算出するもの。1 年前の兵士 4 万人から兵士 30 万人を警戒態勢に置くことが可能になったのは、この概念によるものだった。

これよりも前、ベン・ウォーレス英国国防相は、2030 年までに中露と直接戦争する恐れがあるとの考えを示した。ロシアは、西側諸国がウクライナでロシアに対して宣戦布告なき戦争を行っているとして繰り返し述べている。ロシアのショイグ国防相は、ロシアと接するウクライナ側の国境に NATO が軍隊を追加配備していることから、NATO の軍事活動が攻撃的なものになっているとして警戒を強めている。



## ●「戦略は裏目に出ている」米国でブリックスを巡る誤算について語られる(2023年6月2日)

米国はグローバル・サウスの広い地域で影響力を維持しようとしているだけだが、経済ブロック「ブリックス」(ロシア、中国、インド、ブラジル、南アフリカ)は台頭を見せており、かつてないほど加盟申請が相次いでいる。米ニュースウィークが報じた。

南アフリカのブリックス担当特使を務めるアニル・スクラル氏によると、ブリックスは何かほかのグループに対抗する単なる複数の国からなるグループではない。

「我々は世界的な統治システムの崩壊と、一方的な制裁が如何に常態化しているかを目にしている。

各国は、新しい世界秩序がどのように発展していくかということに対してより多くの影響力を持ちたいと考えている」

スクラル氏によると、現時点で 20 か国以上がブリックスへの加盟を申請または加盟に関心を示している。

なお、ブリックスの正式な役割は西側諸国に挑戦することではない。しかし、ブリックスの支持者の多くは、そこに必要な目標を見いだしているという。

印中経済文化協議会のモハメッド・サキブ事務総長は、ブリックスは発展途上国の利益を代表するために設立されと指摘し、欧米の覇権の崩壊が各国をブリックス加盟へ駆り立てているとしている。

同氏は、米政府と中国政府は世界的な影響力を巡っていると指摘し、「米国は、何らかの形でブリックスを崩壊させるよう各国に強制、脅迫して、ブリックスを中国を封じ込めるための地政学的ツールにしようとしている」と主張している。

一方、この戦略は今のところ裏目に出ているようだ。なぜなら、ブリックスとその新開発銀行では、脱ドル化を求める声が高まっているからだ。

専門家らは、ブリックスに関する米国の政策には一貫性がないとの見方を示しており、米政府が一方的な制裁を課し、グローバル・サウス諸国に中国と貿易しないよう呼びかけている限り、それは BRICS の拡大と強化を促進するだけだと指摘している。



## ●米国は iPhone を利用してロシア人外交官を監視＝ロシア保安庁（2023年6月2日）

ロシア連邦保安庁は、外国にあるロシア大使館に登録されたものを含む数千台の iPhone が、これまで知られていなかったソフトウェアに感染していることを発見した。ロシア保安庁はこれが Apple と米国の情報機関との密接な関係を示す証拠であるとの考えを示している。

「米特務機関が Apple の携帯端末を使って諜報活動を行っていた事実が発覚した。ロシアの通信インフラの安全確保を行う過程で、Apple の携帯電話ユーザーだけに見られる、これまで未特定だったマルウェアによる異常が発覚した」

ロシア保安庁の評価では「このブランドの数千台の電話」がマルウェアに感染していたことが分かっている。

「ロシア国内の加入者に加え、NATO 諸国や旧ソ連諸国、イスラエル、シリア、中国など、ロシア大使

館や代表部に登録の外国の電話番号で SIM カードを使用する加入者も感染していたことが確認された」ロシア保安庁はこう語っている。

ロシア保安庁は、Apple 社は米国の外交政策上のパートナーなど、ホワイトハウスが関心を向ける個人および自国民に対する米国の情報機関の監視を許可していると指摘している。

ロシア保安庁は、今回のマルウェアに関する情報によって「Apple 社が発表している個人データの機密についてのポリシーが実際と異なる」ことがはっきりしたと発表している。



### ●宇政府がカナダに不満、防衛産業へのダイレクトアクセスを要求(2023年6月2日)

ウクライナ政府はカナダによる兵器供与のペースに不満を抱いており、カナダの防衛分野に対するダイレクトアクセスを許可するよう要求している。CBC テレビが報じた。

ウクライナ政府高官らはカナダ側の対応に不満を示しており、より制度化されたシステムを作り、カナダ軍の防衛産業に対するダイレクトアクセスを提供するよう水面下で呼びかけているという。

ウクライナのオレクシー・レズニコフ国防相はカナダ防衛・安全保障協会(CADSI)による恒例のイベントにオンラインで参加した中で、新たに発表される防衛白書にはウクライナに対する兵器供与の義務を盛り込むよう呼びかけた。一方、カナダ政府は新たな防衛白書の公開について予定を公けにしていない。

CBC によると、カナダには国際的圧力が高まっているという。7 月にヴィリニウスで開催される NATO のサミットに向けて具体的計画を用意するよう要求する声が相次いでいるとのこと。

CBC によると、カナダでは兵器が老朽化し、「兵士らからの苦情が相次いでいる」にもかかわらず、これまでウクライナに 10 億ドル以上の軍事支援をおこなったという。



## ●露南西部ベルゴロドで爆発、2 人がけが＝州知事(2023年6月1日)

ウクライナと国境を接するロシア南西部のベルゴロド州で 1 日、爆発があり 2 人がけがをした。同州のビャチェスラフ・グラトコフ知事が明らかにした。

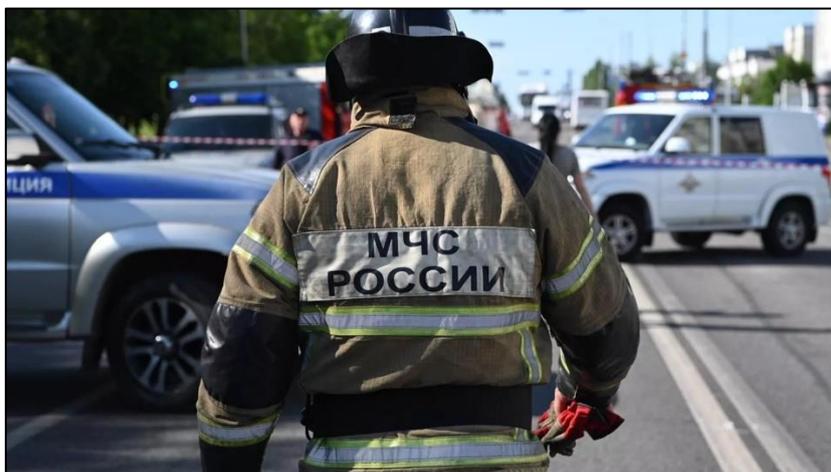
グラトコフ知事は SNS 上の自身のページに次のように投稿している。

「暫定情報として、無人機が道路に落下した。2 人がけがをした」

グラトコフ知事によると、爆発があったのは州都ベルゴロドで、ウクライナとの国境からは約 30 キロ離れている。男性 2 人がけがをし、1 人は脳震とうの疑いで、もう 1 人は軽い打撲のため救急車で病院に搬送された。また、自動車の損傷も確認されているという。現場では救急隊や捜査チームが対応にあたっている。

一方、ベルゴロド市長も無人機の爆発があった現場の映像を公開している。

ウクライナ軍は 31～1 日の夜にかけて、ウクライナ国境から 4 キロメートルのところにあるシェベキノ市に向けて集中砲撃を行った。ベルゴロド州のビャチェスラフ・グラトコフ知事によると、少なくとも 11 人がけがをし、そのうち 4 人が重傷だという。シェベキノ市内は停電し、複数の建物が被害を受けた。



## ●FBI、バイデン大統領の汚職事件に関わる文書の存在認める(2023年6月1日)

米連邦捜査局(FBI)が、ジョー・バイデン大統領の汚職疑惑の捜査に関わる文書が存在することを認めた。疑惑はオバマ政権の副大統領時代のもので、米議会で追及されていた。31 日、米下院監視委員長ジェームズ・コーマー議員(共和党)が明らかにした。

コーマー議員はツイッターの自身のアカウントで次のように投稿している。

「今日、FBI のクリストファー・レイ長官は、文書『FD-1023』の存在を認めた。これは当時のバイデン副大統領が、外国人が絡む贈収賄の計画に関与していたことを示唆するものだ」

一方、コーマー議員によると、FBI は議会が求めていた文書の提出は拒否した。その代わりに、レイ長官は議員らに FBI 本部で個別に文書を開示することを提案したという。だが、コーマー議員は議会での開示を強く求めており、場合によっては議会への不敬行為で FBI を追及することも辞さない構えを見せている。

5 月中旬、野党共和党などの議員らは FBI や検察に対し、バイデン氏の副大統領時代の汚職に関するデータの開示を求めた。議員らは FBI が「米国民に開示されていない重要かつ検証可能な情報」を持っていると疑い、当該文書にはどのように贈収賄が行われたかの構図が示されていると主張。一

方、この問題に関して捜査のための何らかの措置が取られたかについては明らかでないとしていた。



### ●米国防総省、スペースXとウクライナ向けスターリンクで契約締結＝ブルームバーグ(2023年6月2日)

米スペース X 社は、同社のスターリンクのターミナル(端末)を使ってウクライナに衛星通信サービスを提供する契約を米国防総省と結んだ。ブルームバーグが 1 日、米国防総省を引用して報じた。米国防総省の発表によると、衛星通信はウクライナの通信ネットワークの重要な構成分子であるため、米国防総省はこの種のサービスでスペース X と契約している。

提供されるターミナルの数や取引金額、その他の契約に関する詳細は明らかにされていない。

スペース X を率いるイーロン・マスク氏は 2022 年、グローバル衛星通信システム Starlink をウクライナで使えるようにし、第一陣のターミナルを同国へ送った。

同年 10 月、マスク氏は、スペース X はスターリンクを永遠にウクライナで無償提供することはできないと表明し、米国防総省に費用を負担するよう求めた。一方、マスク氏はその後、スターリンクは損失を出しているものの、支援を継続する方針を示した。



### ●バイデン氏、300 歳まで生きたと豪語した直後に転倒(2023年6月2日)

ジョー・バイデン大統領は米コロラド州にある空軍士官学校の卒業式に参加した際、自分は 300 歳も生きたと豪語し、その直後に転倒した。

バイデン大統領は卒業式に出席した際、「300 年前に私が高校を卒業した時、私は海軍兵学校への入学を希望していた」と冗談を飛ばした。

その直後、バイデン氏は足元にあった箱に躓いて転倒した。

自力で立ち上がろうとしたものの、なかなか立ち上がることができなかつたため、SP が駆けつけて救助した。バイデン氏がこの転倒で負傷したとの情報は入っていない。

アイオワ州で演説を行っていたトランプ氏はこのニュースを耳にすると、「まさか、本当に転倒したのか？どこのステージで？本当に転んだのか？」と驚きを示し、歩行する際には細心の注意を払うよう呼び掛けた。



## ●ロシアと国境を接する欧州の国は全て EU と NATO に加盟すべし=ゼレンスキー (2023年6月2日)

ロシアと国境を接する全ての欧州の国々は欧州連合(EU)と北大西洋条約機構(NATO)に加盟すべきである。ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領が表明した。

ゼレンスキー大統領はモルドバの首都キシニョフ(キシナウ)で開催された欧州政治共同体のサミットに参加した中で次のように発言した。

「最近、中国のジャーナリストが私に質問した。なぜ NATO なのかと。答えは簡単だ。安全保障がない時は戦争の保証しかない。私たちに必要なのは平和だ。したがって、ロシアと国境を接し、さらには攻撃を受けたくない欧州の国々はすべて EU と NATO の正当な加盟国となるべきである」

一方、ハンガリーなど、一部の国は今回のサミットでもウクライナの NATO 加盟に反対を唱えた。NATO 加盟には全加盟国の支持が必要となっている以上、実現の見通しは明るくない。そのためゼレンスキー大統領は記者会見中、NATO 加盟に向けた期待が「ますます遠ざかっていく」と発言し、「兵士及び全国民を代表して失望を表明」した。

なお、大統領によると、多くの国々が大量に戦闘機を供与する用意を示しているとのこと。そのため近く米国による主導で戦闘機同盟を結成すると記者会見で発言した。また戦闘機が供与されるまでの安全を保障するためにも、地対空ミサイルシステム「パトリオット」をさらに供与するよう呼びかけた。

このサミットでフランスのエマニュエル・マクロン大統領はウクライナ兵に対して F16 戦闘機の訓練を施すと約束したほか、ドイツのオラフ・ショルツ首相はウクライナ主導の平和サミットに向けて協力する姿勢を示した。

第二回目となる欧州政治共同体のサミットは 6 月 1 日にモルドバで始まった。このサミットには 47 カ国が参加。最初のサミットは 2022 年 10 月にチェコの首都プラハで開催されていた。



## ●米・“デフォルト”回避へ 連邦議会上院で債務上限“引き上げ”法案を可決(FNNプライム・オンライン、2023年6月2日)

アメリカ連邦議会上院は 1 日、債務上限を引き上げる法案を賛成多数で可決し、デフォルト＝債務不履行が回避されることになりました。

法案は 2 年間、国防費を除く予算に上限を設けることなどを条件に、債務上限を引き上げる内容になっています。

法案の採決には野党・共和党などの反発も予想されていましたが、先月 31 日に下院で可決され、上院も超党派の議員による賛成多数で可決されました。

バイデン大統領は「アメリカ経済と国民にとって大きな勝利だ」との声明を発表しています。

法案は 2 日にバイデン大統領が署名し、成立する見通しです。

債務上限の引き上げをめぐることは、イエレン財務長官が今月 5 日にも史上初となるデフォルトに陥る可能性を警告していました。

